

## 【祈りのシリーズⅢ/神のみこころ】

### ●本日の聖書箇所 ・マタイ 26 章 36 節～46 節(新改訳・抜粋)

26:36 それからイエスは弟子たちといっしょにゲツセマネという所に来て、彼らに言われた。「わたしがあそこに行って祈っている間、ここにすわっていなさい。」  
26:37 それから、ペテロとゼベダイの子ふたりとをいっしょに連れて行かれたが、イエスは悲しみもだえ始められた。26:38 そのとき、イエスは彼らに言われた。「わたしは悲しみのあまり死ぬほどです。ここを離れないで、わたしといっしょに目をさましていなさい。」26:39 それから、イエスは少し進んで行って、ひれ伏して祈って言われた。「わが父よ。できますならば、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願うようにはなく、あなたのみこころのように、なさってください。」26:40 それから、イエスは弟子たちのところに戻って来て、彼らの眠っているのを見つけ、ペテロに言われた。「あなたがたは、そんなに、一時間でも、わたしといっしょに目をさましていることができなかつたのか。26:41 誘惑に陥らないように、目をさまして、祈っていなさい。心は燃えていても、肉体は弱いのです。」

26:42 イエスは二度目に離れて行き、祈って言われた。「わが父よ。どうしても飲まずには済まされぬ杯でしたら、どうぞみこころのとおりをなさってください。」  
26:43 イエスが戻って来て、ご覧になると、彼らはまたも眠っていた。目をあけていることができなかつたのである。26:44 イエスは、またも彼らを置いて行かれ、もう一度同じことをくり返して三度目の祈りをされた。26:45 それから、イエスは弟子たちのところに来て言われた。「まだ眠って休んでいるのですか。見なさい。時が来ました。人の子は罪人たちの手に渡されるのです。26:46 立ちなさい。さあ、行くのです。見なさい。わたしを裏切る者が近づきました。」

### ●この箇所を理解する為に

「できますならば、【この杯】をわたしから過ぎ去らせてください。」

この杯とは、これから、十字架において、全人類の罪を背負い、神の怒りを身代りに受ける事を指す。

### ①私達は、神の「\_\_\_\_\_」がある事を覚えよう

これまで、主イエスの祈りは、ことごとく答えられ、祈りを通して数々の驚くべき神の奇跡を行ってきた。しかし、ここでは、3度も願ったにもかかわらず、その願いは、かなえられなかった。何故、神は、御子イエスキリストの願いに答えられなかったのであろうか。それは、イエスキリストの十字架の死以外に、私達が救われる道はないからである。

主イエスと同じように、神は、私達の願った通りには答えられず、私たちが、苦しみの中を通る事を赦される事がある。それは、御子イエスキリストの命を与えるほどに、人類を愛される神が、苦しみの経験を通り抜けた私達を通して、他の人々を励まし、慰め、救いたいと願われているからである。

熱心に祈り続けても、祈りが答えられない時、今は全ての理由が分からなかつたとしても、尚も、愛なる神のみこころ/神のご計画がある事を覚えよう。

### ②私達は、神のみこころ/計画に従っていく為に、「\_\_\_\_\_」続けよう

主イエスは、素直に自分の気持ちを打ち明けながらも、最後は、父なる神のみこころが成るように、つまり、十字架への道に従う祈りをされた。

それは、主イエスにとっても、簡単な事柄ではなかつた。主イエスは悲しみ、もだえ、他の聖書箇所を見ると、血の汗を流して祈られたとある。文字通り命がけで、祈り続けられたのである。しかし、祈りきつた後、主イエスの様子は一変した。何にも動じる事のない、全てを圧倒する神の愛と力が与えられたのである。

私達も、神の御心・願いが分かり、その事が、多くの人々の為に役に立つ事だと分かっても、すぐには従えないような時もある。だからこそ、私達は祈るのである。神の御心に従う事を決心し、祈り求める者に、神は驚くような神の力、愛、必要なもの全てを、私達にも必ず与えて下さる。

私達は、神のみこころ/計画に従っていく為に、祈り続けよう。